

広報



たかのす

第3種郵便物認可 昭和44年5月14日

◆発行所 秋田県北秋田郡鷹巣町役場
☎(01866) 2-1111
◆編集 総務課秘書係
◆発行部数 6,700部
◆毎月1日・15日発行
◆頒価10円◆郵便番号018-33
◆印刷所 ㈱秋北新聞社

№.229・46・12・15



ゆ く 年

新しい年—1972年は、もうそこまできています。、

町民のみなさん、ことし1年、ほんとうにご苦労さんでした。

明日をより豊かにするため、ともに力いっぱい生き、最後のしめくくりをしましょう。

学校給食

南部学校給食センター

新年度から開始

南部学校給食センター建設工事の入札は十一月十九日行なわれ、四百九十万円で丸山建設が落札しました。

工期は昭和四十七年三月二十五日まで、四月の新学期から、南部四校の完全給食が実施されることになりました。

南部学校給食センターは、中央小学校に建設され、鉄骨平家建百六十二平方メートル、事業費は、本体工事費四百九十万円のほかに、内部施設、備品、運搬カーでおよそ六百万円、総事業費千百万円が見込まれています。

同センターからの給食は、中央小学校、南小学校、竜森小学校、南中学校の四校で、給食人数は千百人。センターでつくった給食を運搬カーで南小・南中・竜小のコースで配膳することになっています。

町では、学校給食を小学校の統廃合、学校再編成と併行してすすめており、昭和四十四年十一月には鷹巣小、ついで昨年の十二月には、北部地区の鷹巣中、西小、綴子小の三校を対象にした北部学校給食センターが完成、東小、中央小はすでに実施しているの

で、南部三校だけが残っています。同センターが完成すると、給食未実施校は、綴子小学校、岩谷分校だけとなり、町内の学校給食率は、九十九・九％の実施となります。

教育委員会では、岩谷分校についても、児童の過疎化を勘案のうえ、近い将来に百％給食を検討しています。

おめでとう

成田末吉さんに

名誉の藍綬褒章

交通安全に24年貢献



受賞の成田末吉氏

褒章には紅綬（人命救助）緑綬（德行模範）紺綬（私財寄付）黄綬（家業精励）紫綬（学芸貢献）それに藍綬の六種類がある。この中でも藍綬は、長期にわたる公のために貢献した人に授与されるもので、最も価値のあるものとされている。

成田さんは、二十余年間交通安全運動に抜群の功績をあげたもので、鷹巣町の誇りでもあります。

特に、戦後の混乱期にいち早く今日の交通を予測し協会の設立に貢献し、最近においては交通指導隊の誕生を手がける等その礎を築いたもので

社会福祉の増進に期待

＝新民生委員に61名＝

任期満了にともなう、新しい民生委員六十一名が十二月一日付けで、県から任命され、八日午後一時から役場で辞令の伝達式が行なわれました。

新任の民生委員と担当地区は次のとおりです。

（一）は担当地域。

- （鷹巣地区） 畠山セツ（末広町、新松葉町） 花田三郎（駅前、材木町） 成田準一郎（松平町、福住町） 河田準一郎（太平町） 中川篤三郎（大町） 奈良幸恵（栄町） 佐々木正夫（西仲通） 九島令（花園町、米代町） 関チヨ（東旭町） 小林操（旭町、伊勢町） 佐藤弘（三吉町、桜木町） 斎藤寧（西旭町） 北島洋子（東住吉町、西住吉町） 成田郁子（東横町、西横町） 相馬アヤ子（舟見町） 成田鶴子（学校通） 河田サヨ（仲町） 高橋トシ（新旭町） 長谷川政子（南鷹巣） 山野内キミ子（南鷹巣） 高橋サタ（あけぼの町、東仲通）

- （綴子地区） 秩父威仙（上町） 藤島儀一郎（下町） 佐藤文男（小田、田子ヶ沢、公原、佐藤重蔵（岩谷、二本杉） 加賀谷与造（大畑） 畠山藤一郎（向黒沢） 渡辺妙子（糠沢） 佐藤正（昭和、大堤） 三沢桂（田中） 大川孝造（新田中、南中） 村上定吉（掛泥） 村上イク（掛泥）
- （栄地区） 松尾カオル（太田） 岩谷佐一郎（摩当） 加賀喜蔵（田沢） 田村栄（上大野、下大野）
- （坊沢地区） 佐藤七三郎（相善、深閑） 津谷フミ（羽立） 能登谷イシ（大町、上町） 藤原正孝（街道町） 桜庭角蔵（蟹沢） 野呂健二（大向、大野尻） 津谷清助（深閑） 大川静江（黒沢）
- （七座地区） 野呂重光（前山） 篠内チヨ（今泉）
- （沢口地区） 佐藤貞男（湯ノ袋、坊山、四渡） 畠山トヨ（小森、中屋敷） 本間三義（脇神、上野） 加賀松五郎（藤株、高森岱） 小塚君子（堂ヶ岱） 秋元宇三郎（舟場） 中島多市郎（川口、小ヶ田、湯車）
- （七日市地区） 佐藤チエ子（七日市、根本屋敷） 長岐哲弥（妹尾館、中畑、大畑） 堀部ナカ（門ヶ沢、葛黒） 三上新一郎（与助岱、三ノ渡、黒森） 畠山勉（松沢、明利又、電化） 相馬鉄郎（上舟木、下舟木、吉ヶ沢、深沢） 九島静江（品類、岩脇、横瀬）

年末・年始の新生活運動

めまぐるしい社会の変化の中で農村にも、企業体にも家庭生活にも、思いきった合理化の実践が必要になってきました。

これまでの私達の生活に反省を加へ意欲的な生活の計画をうちたてるため、年末年始を機会にまだ残っているうわべだけの儀礼や、冗費を節約し、新しい時代の生活設計をつくりあげるため、明るく簡素な生活の確立をめざして、年末・年始の新生活運動を推進しましょう。

線路の近くでタコあげ危険

毎年、冬ともなると、木枯しが風を呼び、子供たちは風あげに夢中となりますが、冬空を色どる風も、鉄道の線路に飛来しますと思わぬ事故を引き起します。特に、秋田・青森間は、今年の十月から全線電化され、鉄道の架線には高い電圧の電流が流れています。このため風の糸が巻きつきましますと、状況によっては感電してケガをしたり、時によっては死亡の恐れさえあつて、大変危険です。そこで、子供たちが風あげに熱中する冬期、特に冬休みなどを中心に、鉄道沿線の風あげの禁止を十分に指導してください。

南鷹巣に町営住宅、二戸完成

―はじめての簡易耐火二階建て―

当町では、はじめての簡易耐火二階建ての町営住宅十二戸が完成しました。町内の世帯数は、年々増加の傾向にあります。そこで、町では、より低廉な家賃で、より整備された住宅を供給するため、毎年町営住宅の建設を行なっております。ことし南鷹巣団地に完成し、庭もついています。

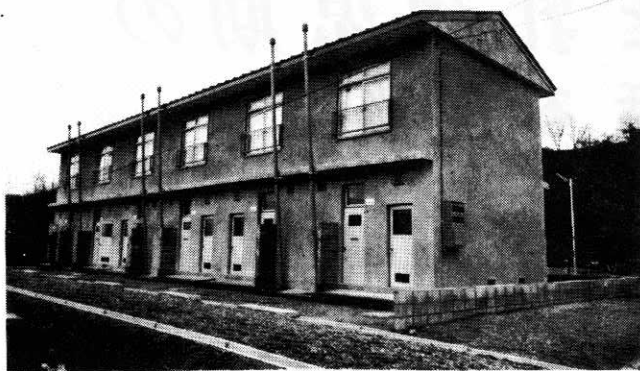
住宅建設

五ヶ年で百戸

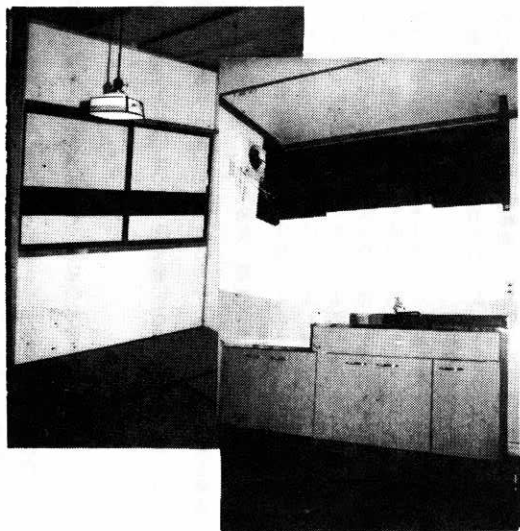
一階は、台所兼居室、便所、風呂場、二階は、六畳と三畳で、一、二階とも各部屋に押入れがついておるほか、南面には、居室から出入りできる

町の五ヶ年住宅建設計画の年次別建設戸数は、次のとおりとなっております。
昭和四十六年度十二戸（完成）
四十七年度二十四戸
四十八年度二十四戸
四十九年度二十二戸
五十年十八戸
計百戸となっております。

昭和25年度建設住宅は用途廃止
昭和二十五年の大火の際、応急住宅として建設した、木造二戸建六十五戸は、建設以来二十五年を経て、土台や住宅の一部が腐朽しているため、昭和四十九年までに、年次計画で用途を廃止し、団地の再開発を計ることにしていきます。
この土地には、前記五ヶ年百戸の住宅建設用地として利用することにしていきます。



南鷹巣に完成した二階建住宅



右側一階、台所兼居室
左側二階、六畳

広報のしおり

衣



らしいものです。お勤めから帰る家族のために温かいお食事は何よりのごちそうです。

厚着はからだに良くないといわれますが、寒いときは寒いなり服装をととのえたいものです。厚着がよい理由としては、厚着をするとからだの熱の放散が不足して新陳代謝が妨げられ、環境に順応する力が弱くなる、したがってかぜをひきやすくなる……というわけですが、衣類でからだを温めるには、厚い下着を一枚着るより、薄手の下着を二枚重ねて着るほうが、その間の空気の層ができるので保温性が高くなるということです。

お正月に着る晴れ着は、はやめに点検しておきましょう。タンスにちゃんとしまっておいてあるはずの衣類もすぐ着れるかどうか、いそがしきにとりまざれて、つい見落としがありますからお早目に。

食



ふつふつと煮えださるナベ料理は、冬の保温食の王様でしょうか。ご家庭で季節の魚や肉と野菜など、好みの材料で好みの調味でできる「寄せナベ」。ぜいたくにも簡素にも自由にこしらえられるのが特徴です。湯豆腐は、本来ですとコンブをだしにした湯でトウフを煮てカツオブシやネギ、ショウガを加えたしよゆで食べるものですが、これだけではもの足りないという方は、これに野菜を入れたいやタラなど白身の魚か、フグやカキなど加え、三杯酢または三杯酢でいだけば「チリナベ」になります。朝の食事にみそ汁は欠かせませんが、みそ汁に酒かすを入れたかす汁はこつてりした味でからだも暖まり、お酒のきらいな人でもおいしくいただけます。保温食にぜひおすすめしたいものの一つです。

生涯教育と乳幼児期の 教育を語る座談会

町では、ことしの七月生涯教育パイロットの指定を受け、生涯教育推進に努めておりますが、去る十一月二十五日生涯において一番大切な時期といわれる「乳幼児教育」についての座談会が開かれ、乳幼児教育の必要性について意見の交換がありましたので、その一部を集録しました。

座談会は、①両親による教育はどうすればよいか、②家庭による教育はどうあればよいか、③乳幼児期の教育行政はどうあればよいかの三点について、出席者が意見を發表、その後座談会に入りました。

司会

(山内社会教育係長)

お忙しのところ出席くださいます。生涯で一番大切な時期といわれます乳幼児教育について、それぞれの立場から、五、六分程度の發表をお願いします。

最初に、大井上さんからお願いします。

大井上 稔さん



幼児教育の特殊性はその視点にも教育は生まれたその時から始まっているという事であり、幼児の集団教育は、家庭教育が存在することを前提として成り立っているはずであります。つまり家庭で幼児は個として尊重され施設では幼児は集団の一員として教育されます。

一方では幼児教育を現在の学校教育の体系の中で行うという意見があります。中教審答申)しかし幼児期(学校

最後に現在の幼児教育の行政は不幸にして文部(幼稚園)厚生(保育所)の二本に分かれていてこれは早急に一本化して幼児庁をつくる必要があると思う。

佐藤 忠雄さん



教育熱心や共働きに依る乳幼児の為の施設の利用は今後も増加の傾向にあり、施設の充実が呼ばれて居りますが、中には、これらを利用する事は是非を反省しながらも、○才からすべて他人任せと云う家庭が多くなりつつあります。施設では、家庭で得ることのできない、集団生活、社会性などの欠くことの出来ない

千葉 勝也さん



ものを補うのがねらいなので。親と子の肌のふれ合い、生活、遊びの中にこそ、真の豊かな人間作りの基礎となる教育があるのであり、家庭での育児を大切にすべきです。家庭や社会と共に満足できるような乳幼児の教育についての学習を続けたいものです。

この頃の子供の大きな欠点として眼につくことは

一、わがままな子供が多い

二、自分の物を自分で仕舞えない。

三、もの事に飽きやすく、長く続かない。

四、おぼろげな、最後までがんばれない。等々

その原因として

一、共働き家庭が多い

二、おぼろげな、おちいちゃんが多い。

三、生活に追われて子供の世話が充分出来ない。

四、両親が子供の育て方について、はっきりした知識と方法を持っていない。等が考へられると思います。

幼児を育てる上で、一番大切なことは、よいしつけ(習慣)をつけること、丈夫で健康に育てることだと思

います。その意味からも、母親教育の充実。保育施設幼稚園の充実とよい指導者の育成。子供達とのびのびと遊べる環境。施設の充実整備等、を当面の課題として考へてほしい。

長崎 久さん



「保育所があり、幼稚園があるの、とても助かる。本も読めるし、人前でお話もできるようになった」と、いう母親が多いと思う。

そのことは大へんありがたいことだが、幼児の教育を施設にのみ頼っているのは、本来母の肌で育たなければいけない人間の情の世界が育たなくなり、どこの国の子か、誰の子かわからない殺ばつた人柄になつてしまふようになるのではないかと、心配になることがある。

母親は、子どもを放す時間が多くなればなるほど、せめて家で、わが子をしっかりと抱きしめ、きびしさと、あた

たかさで育ててほしいもので

す。

渡辺 栄蔵さん



「幼児教育は四才からではおそい。○才からでないと間に合わない」という。

この幼児教育の根幹をなすものは家庭、母親である。ところが、世の家庭、母親をみると、大変りっぱな感心すべきケースも多いが、考えさせられるケースもまた多い。

過剰厳格型、過剰信頼型、自信喪失型、無責任型、甘やかし型……。幼児教育については、親の意識調査の結果からみても「しつけは幼児のときからきびしく」というのが圧倒的に多い。しつけは毎日の生活の場において根気強く、家庭、母親が主役になるべきである。母親教育と母親の自覚、勉強を望みたい。

水沢 文則さん



乳幼児教育の中心は、なんといっても家庭であるべきであり、特に母親の責任が重い。保育園や幼稚園の拡充整備は望ましいが、その教育はあ

くまでも家庭教育の補完である
ことを忘れてはならない。
それ故、家庭がその教育を
保育園や幼稚園に委せきつて
しまうような弊に陥らぬよう
十分戒心しなければならぬ。
従来の乳幼児教育が人間尊
重の美名にとられて、甘や
かしではなかったかを十分に
反省し、将来の展望に立った
も少ししばしばいびがあつて
もよくはないか。

九島 興治郎さん



乳幼児教育の要点を、その
ものずばり云いあてているの
は「氏より育ち」という古い
箴言であろう。

健康に必要ないろいろな習
慣も、社会生活で望ましい態
度も、動植物の愛護心と、リ
ズムや絵に興味をもつよう
なるもの、知らず知らず家庭
の雰囲気から受ける影響が一
番大きいと云わねばなるまい。
従って乳幼児教育は、まず親
の教育からである。

次ぎは、これ又知らず知らず
受ける社会環境からの影響で
ある。公民館あたりが主唱者
になって、街頭からいかにわ
しいポスターを除く運動とか
思わしくない漫画や絵本を見
せない運動とか、そしてそれ
に代って、よい映画、よい本
を読ませる運動を、ぜひやっ

てほしいものである

寺田 ヤシさん



生れて来た子供の最初の人
間形成をし、後々までその人
間の魂と知性の発展の支えと
なるのが母であるから、何と
いっても女子教育は乳幼児教
育の原動力と考える。

それは子供が生れる以前、
どんな配偶者を選ぶかの段階
から始められるので、未婚、
既婚、しかも妊娠時期、出産
乳幼児を持つ母親から最後は
祖母の立場に至るまで、乳幼
児教育についての一貫した女
性講座のようなものの計画を
持ち、各々の立場にある人達
に浸透させたいものである。
それによって乳幼児を囲む人
的、家庭環境を整備し、乳幼
児の教育について、家庭を構
成する人達にその家庭なりの足
並を揃えよう方向づけを持た
せたいと思います。

笹原 一さん



乳幼児期の教育につきの三
点を考えています。
①真心こもった家庭教育を。
母親教育は盛んに行われて

いるが、ポイントは父親にあ
ると思うので、もっと真心の
こもった家庭での話を大事
にしたい。

②行政の、本化を。

保育所は厚生省、幼稚園は
文部省といわずに、乳幼児教
育について国の行政の本化
を望みます。

③町施策は乳幼児を心して
保育所、幼稚園の施設と共
に社会的な開発も乳幼児の成
長を心に入れて、もっとテコ
入れを強化したいと考えてい
ます。

松尾 精一さん



社会情勢の急速な進歩に伴
い、幼児の保育に対する社会
的要望はただ単に保育のみに
とどまらず、社会に役立つ人
間形成に対する、親の関心と
熱意が近來ますます高まりつ
つある現況をふまえ、次の四
点を期待したい。

一、施設、設備の充実

住民の希望するすべての幼児
が入園、入所出来るための施
設の充実、確保が急務である。

二、幼児教育の拡大

幼児教育は広義の養護、保育
教育、医療、保健衛生等年代
や生長過程に応じた、高度な
教育の方法が望まれる。

三、財政援助の強化

幼児教育の近代化を推進する
には、国、県、市町村が必要

な財政上の措置を速に講ず
べきである。

四、両親の幼児教育学習の
推進

幼児教育が近代化する反面、
両親の責任、役割が後退し、
両親不在の幼児教育が考えら
れる。幼児の人間形成の第一
義的場は家庭であり、両親で
あると云う理念に立つて、両
親が常に、学習出来る場と機
会を再検討すべきであると考
えます。

細田 敏明さん



幼児は、未来の国造りの源
であり、この時期の教育は、
生涯に於いて、一番大切であ
ります。この点を、我々は自
覚し、幼児に含む無限の可能
性を、正しく育てなければい
けないと思います。この大切
な宝を、私視し、自分だけの
懐に乞ひでしよう傾向にある
が、国を治めると云う、大き
な見地から、周囲の一人一人
が、方向を誤らない様に見守
つてやらなければいけない。
その為にも自からの環境を
正しく人間社会の基礎である
「和」「道徳」の二点につい
て、大きく取り上げ、習慣づ
けて行きたい。

渡辺 勝蔵さん



生涯教育とは、ひとりひと
りが生涯にわたる学習が必要
であることを自覚して、それ
ぞれの立場から求めする学
習である。従って町民ひとり
ひとりが教育に対する自覚と
要求を基調として、それと行
政が一体となって努力せる営
みを通じて、創造していく新
しい教育の姿である。

また教育を受ける権利は生
涯にわたって制度的に保証さ
れることを前提としなければ
ならないと思う。かように考
えてくれば教育と生活とは密
接不離のものと考えます。

高橋 勝蔵さん



幼児期に人間形成の核にな
るものがつくりあげられると
いわれているが、これを育て
あげる場は明るく平和な家庭
であり、又その主役は愛情と
きびしさをもつ「かこい母
親」である。子どもの育成は
両親の責任であるという自覚
と家庭教育の知識技術の習得
が必要であると思う。子ども
は多く叱ることでは良くな

ない。長所の発見と小さな善
行でもほめてやる配慮が大切
である。母がほめたことを父
が叱り、祖父母が叱ったこと
を父が母がほめるなどは、ど
れが良いのか悪いのか、子ど
もを惑はす危険なことなので
一家の意志統一をはかること
が大切である。又家庭内にこ
れだけは必ずおささねばとい
った「きはん、規律」のよう
なものが必要である。何をど
う考えても個人の力は小さい。
生涯教育の観点からも国、県、
町の暖い積極的な施策による
施設整備の充実等条件整備の
確立と、全町民が参加する町
ぐるみの態勢が必要であると
思う。

乳幼児期の教育を

語る座談会出席者

- 大井上 鷹雄 鷹巣教会幼稚園園長
- 佐藤 忠雄 七日市保育園園長
- 千鶴 小次郎 鷹巣小学校校長
- 長崎 久 鷹巣小学校校長
- 渡辺 栄蔵 鷹巣小学校校長
- 水沢 文則 鷹巣小学校校長
- 鷹巣 高次郎 鷹巣小学校校長
- 寺田 雅子 鷹巣小学校校長
- 笹原 一 鷹巣小学校校長
- 松尾 精一 鷹巣小学校校長
- 細田 敏明 鷹巣小学校校長
- 渡辺 勝蔵 鷹巣小学校校長
- 高橋 勝蔵 鷹巣小学校校長
- 教委 社会教育課長

昭和47年度小学校就学児調

46年12月1日現在

学校名	男	女	計
鷹 巢	80	51	131
東	21	16	37
綴 子	25	11	36
岩谷分校	3		3
西	26	25	51
中 央	25	26	51
南	19	18	37
竜 森	3	5	8
計	202	152	354

①自分の名前がいえる、書ける、読める、②あいさつができる、③ハイ、イイエの意を表わすことができる、④ハンカチ、ちり紙の使い方と管理ができる、⑤自分の衣服の脱着ができる、⑥自分の身の回りの始末ができるようにしつけ、こどもの伸びる可能性を最大限に発揮させるためにも体力づくりのほうが大切だと思います。

明年就学児童の健康診断
家庭ではしつけと体力づくりを

来年四月、町内の小学校に就学する児童の健康診断が十二月二日から十七日までの日程で、それぞれの入学学校で行なわれていきます。

明年の入学児童は、昭和四十一年四月一日から昭和四十一年四月一日まで生まれた人で、十二月一日現在で全町で三百五十四名。昨年の同時期は三百六十五名より十一名の減員となっています。



竜森小学校での
就学児童健康診断

保険料の納め忘れ
ありませんか

国民年金の保険料の納期限は、一月分、二月分、三月分は四月末日までというように、四月にきめられています。四月分から三月分までの保険料は翌年の五月一日以降は役場で発行した納付書では納めることができなくなり、直接社会保険事務所で納めるか、特別の納付書で銀行や郵便局で納めることになり手数料がかかることとなります。

年末年始食品一斉取締り

12月15日～1月14日

年の瀬を迎え、なにかとあわただしさを感じます。食品の面においてもクリスマスケーキをはじめ、正月のおせち料理などが、時にしかも大量に出まわります。県ではこの期間に毎年「食品添加物等の年末年始一斉取締り」を実施して非衛生的な食品の排除につとめています。この時期の食品製造施設においては、一時的ですが、人手が不足し、その取扱も粗雑になりがちです。その結果、大腸菌や一般細菌、病原微生物等の汚染を受けた非衛生的な食品や、定められた標示のない不正使用の食品が出まわることが十分考えられます。また一方、こうした時期によくみられる行商などのうち、無許可のものが横行することもあり、予想されますので、これらを一掃するため、この期間特に監視、指導を強化することになったものです。

ドルショックを学ぶ
回鷹巣町消費者会議



議は、十一月二十九日鷹巣は、十一月二十九日鷹巣役場会議室で行なわれ、た登壇には婦人会、物価調査員、一般消費者ら百人が参加。ドルショックが消費生活にどんな影響があるか、また将来予想されるデノミの問題などについて学習。消費者生活の認識を深めあいましよう。

米内沢浦田局の
ダイヤル電話
1月26日より開始

森吉町米内沢・浦田地区の電話が、来る一月二十六日午後一時から自動化切替となり、ダイヤル通話になります。市外局番は、これまでの〇一八六七二が、最後の二がなくなつて、〇一八六七となり、市内局番は米内沢地区が二局、浦田地区が三局と新しくついたほかに、電話番号が四数字となるため全部変更になりますのでご注意ください。

県立衛生看護学院で
学生を募集

県立衛生看護学院で学生を募集しています。

募集人員は、保健科三年課程三十人。看護科三年課程四十人。看護科二年課程四十人。夜間三十人。願書提出期間は、昭和四十七年一月十一日から一月三十一日までとなっております。

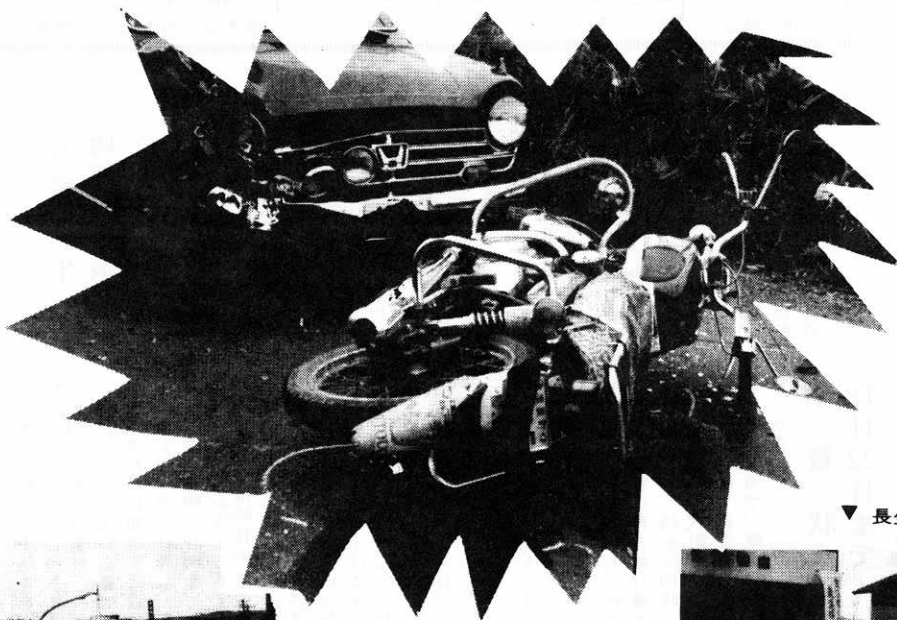
詳しくは、秋田市千秋久保田町六番十号、秋田県立衛生看護学院におたずねください。

たばこは
町内で
買いましよう

交通安全宣言 非常事態激増交通事故



▲ 手をあげて横断歩道を正しく渡るよい子たち



◀ スピード違反が事故を呼ぶ

▼ 長生き大学の交通教室



◀ 雪道、スリップ注意



交通安全メモ

〈アルコールと精神状態〉

「少しぐらいの酒で事故を起すことはない」と思ったら大間違いです。

酒を飲みますと、程度の差こそあれ、一時的に急性アルコール中毒にかかり、安全運転に必要な判断力、抑制力、運動能力、その他視覚聴覚など一連の運動がマヒし、精神状態も異状になります。

例えば

▼ 道路標識、障害物、対向車両などを見落したりします

▼ 運転操作に要する反応時間が遅れ、タイミングのずれを生じます。

▼ 交通規制や交通ルールを守れず運転操作は必要以上に大げさで乱暴になります。

▼ ショック感や速度感も著しくおこなったり、恐いもの知らずの大たんな運転から暴走運転まで行ないます。

更に悪いことは反省する能力まで失ない、交通事故を起しても気がつかなかったり、罪悪感も失なってしまうにげなことをするようになるのです。

飲酒運転は身の破滅です。酒は自分自身のためにも家族のためにも、ハンドルを離れてからにしましょう。

飲んだら 乗らない！
乗るなら 飲まない！
飲ませない！



年末・年始 の仕事



年末、年始の役場の事務は、12月29日から来年の1月3日まで休みますが、一部事務はつぎのとおり仕事を行ないます。

町民課 年末は12月30日まで平常通り事務を行ないます。

収納課 12月30日まで平常通り行ないま

役室 年末は12月30日午後3時まで

業務を行ないます。支払いと税の収納を行ないます。

清掃係 12月29日に年末ごみ特別収集を次の区域で行ないます。

旧鷹巣地区一円、南鷹巣、沢口舟場、田中、新田中、南田中、掛泥、高野尻団地
年末特別収集ですので、ごみは各地区とも午前8時まで収集場所に出しておいてください。

衛生センター 12月19日、26日の日曜日と、年末は30日まで平常通り業務を行ないます。

センター運転中は、し尿の汲取りも平常通り行なわれますのでご利用ください。来年は1月8日から開始します。

公民館附属図書館 12月30日まで平常通り開館しますのでご利用ください。来年は1月4日から開館します。

広報 お知らせ コーナー

公衆衛生 功労で表彰

このほど合川町で行なわれた、第十四回鷹巣阿仁地区公衆衛生大会で、つぎの個人、団体が公衆衛生の功労などで、鷹巣保健所長から表彰を受けました。

▼功労者 八木旅館、桜庭新八(理容業)千葉常雄(調理士会)村井重雄(飲食店)小笠原タマ

▼優良団体 田沢地区(代表 亀山三十郎)

▼優良施設 レストラン仲よし、二幸食堂

▼優良従業員 中村輝俊、木村誠、藤島功(以上雪印鷹巣工場)浜野みち(ゆき)高山麗子(高山旅館)堀内ワカ(津谷製あん所)

図書館に献本

鷹巣気象通報所長安達進氏は、このほど鷹巣町公民館附属図書館に河出書房新社発行の「カラー日本文学全集」二十五巻を献本しました。善意に深く感謝いたします。

コンピュータによる家計診断

貯蓄増強中央委員会では「コンピュータによる生活設計と家計診断」の申込みを無料受付中です。しめきりは昭和四十七年一、月末日。内容については、応募用紙に記入された長期の生活設計をコンピュータが計算し、今後必要な資金積立計画などを診断表によりお答えします。応募用紙は昭和四十七年「明るい生活の家計簿」に挿入してあります。また家計簿のない方は左記に申込みは無料です。応募用紙を差上げます。

献血にご協力を

献車あかつき号が二十日、献血を受けることになった。

二十日午後一時から三時まで、米代町秋田相互銀行鷹巣支店前。午後三時から四時三十分までは、米代町としま医院前の二カ所で行ないます。最寄の場所では、献血にご協力ください。

年賀状は

12月22日まで

ことしも十二月十五日から年賀状の受け付けはじまります。

あわただしい「しわす」の年賀状書きは、とかくおっくうになりがちでよく「出し期日」がせまってくる。

な粗雑な年賀になつてしまします。スケジュールをたて、日曜りや夕食後のひとときに家族そろって心のこもつた年賀状を書くのも楽しいものです。年賀状は、おそくとも二十日までに、お出しください。

暦吊だより

11月16日、11月30日

誕生おめでとうございます。

岸田あかね 孝雄長女 古閑岸部 幹 隆長男 太平町鈴木謙一 兼雄長男 舟場小笠原修 政弘二男 大畑武田恭一 幸吉二男 花園大重 晃 忠司長男 岩谷佐藤健吾 正憲長男 岩谷佐藤卓子 芳直長女 南鷹巣岩本由紀子 恵治二女 岩脇二人の前途を祝福します。

三上 清 三の渡佐藤 枝智子 横瀬相馬 忠昭 大町桜田 マサエ ニツ井町鈴木 兼雄 舟見町鈴木 洋悟 末広町高橋 伸皇 大館町富樫 征雄 田中永井 とし子 相善町荒木 豊一 大館町伊藤 悦子 元新町浅利 晨悦子 北新町花田 信子 北新町岩谷 孝夫 二ツ井町堀橋 孝夫 二ツ井町堀川 節子 十和田町

浅利 勝治	佐藤 吉美	戸島 栄子	吉原 信夫	藤田 優子	佐藤 優子	高田 ヒロ子	松本 俊之	成田 三沙子	晶山 忠光	木内 恵美子	佐々木 伊佐巳	柴田 美子	小林 勇作	松尾 恵子	河田 徹子	杉山 和子	高橋 利雄	柳沢 幸子	石沢 慶子	鈴木 タミエ	浅野 幸子	宮野 幸子	藤原 邦子	佐藤 邦子	小笠原 邦子	斎藤 信子	桜庭 信子	立石 ウメ子
末広町 黒	葛城 泥	掛通	西仲	舟場	藤田 場	尾沢 場	静岡 場	今泉 場	本庄 場	藤里 場	舟場	秋田 場	太田 場	桜岡 場	静岡 場	西吉 場	岩手 場	明利 場	大館 場	下田 場	大曲 場	糠沢 場	大畑 場	蟹沢 場	田代 場	田代 場	田代 場	田代 場
266																												

おくりやみ申しあげます。

長崎アツノ(50) 大野尻
佐藤 トキ(63) 元新町
大川 ハル(84) 東横町
鈴木 謙一(0) 舟場
佐藤 兵吉(61) 舟場
持地 幸造(69) 舟場
神馬 正一(58) 泉町